

「H.A.L.'s Circle Review」通算 5000 号に寄せて

「H.A.L.'s Circle Review」通算 5000 号、誠におめでとうございます。

私が川又店長に初めてお会いしたのは、ノアに入社した 2010 年のことでした。

オーディオの仕事そのものには 1990 年から携わっていましたが、いわゆるハイエンドオーディオの世界に本格的に飛び込んだのは、ノアに入社してからです。

もちろんのこと貴店のオープンより存じ上げてはおりましたが、入社当時の私にとって、ダイナミックオーディオ 5555 は少々緊張して足を踏み入れる場所でした。

中でも川又店長のフロアには、その時代を代表する、まさに「ドリームチーム」のような製品がずらりと並んでいて、新参者の私は圧倒されるばかりだったことを今でもよく覚えています。

豊富な知識と経験、そして何より長年積み重ねてこられた実績をお持ちの川又店長に対して、当初はずいぶん身構えていたものです。

ところが実際には、そんな私にもいつも気さくに、そして親切に接していただきました。

それから 16 年。

川又店長を通じて、本当に多くの音楽好き、オーディオ好きのお客様とお会いすることができました。

仕事として製品をご紹介するだけでなく、お客様と一緒に音を聴き、音楽について語り、その素晴らしさを共有する。私自身、そうした時間を重ねることで、ハイエンドオーディオという仕事の面白さや奥深さを教えていただいたように思います。

そして、こうした多くのお客様との出会いが生まれてきた背景には、川又店長が長い年月をかけて築いてこられたお客様との信頼関係があります。

「継続は力なり」と言いますが、26 年間、そして 5000 号という数字は、ただ続けるだけで到達できるものではないでしょう。

毎回伝えるべきことを考え、ご自身の耳で確かめ、それを自分の言葉で読者に届け続ける。

そして、その言葉を楽しみに待っているお客様がいる。

「H.A.L.'s Circle Review」5000 号という大きな節目は、川又店長とお客様との間に積み重ねられてきた信頼そのものなのだと思います。

SNS や動画が当たり前になった現在でも、文章を通じて「この音を聴いてみたい」「この製品を実際に体験してみたい」と思わせ、最後には実際の音を聴いていただく。

ハイエンドオーディオに携わる私たちにとって、その「実際に聴く」という体験をこれからも大切にしていかなければならないと、私自身改めて感じています。

川又店長、「H.A.L.'s Circle Review」通算 5000 号、本当におめでとうございます。

そして、これまで川又店長を通じて多くのお客様と出会い、音楽とオーディオの素晴らしさを一緒に共有する機会をいただけたことに、改めて感謝申し上げます。

5000 号はきっと、まだ通過点なのでしょう。

これからも川又店長らしい言葉と音で、私たちを驚かせ、楽しませてください。

株式会社ノア

牧野文保